

みのお 花とみどりの にゅーす・れたー



第8号 2021年(令和3年)12月20日発行 NPO 花とみどり



“色鮮やかなドライフラワー(!)” を創作・配布、イベントで大人気

花とみどりグループが参加・主催した秋のイベント（「NPOフェスタ」花とみどりのマルシェ）に、手作りの色鮮やかなドライフラワーの小品が登場（写真）、寄付つき配布で大人気に。



ドライフラワーといえば、茶色い枯れ葉色が多いのに、乾燥後も鮮やかな色を保つセンニチコウ（千日紅）等を



主体にした結果。（センニチコウのドライフラワー↑）

ボランティア組織「みのお園芸ファーム」が管理する古井戸公園（かやの中央）の花壇で、季節的な植え替えのため処分される夏のお花の一部を活用、メンバーが創作。

ドライフラワーにすることで、「お花の美しさを永遠に」ととも、「フラワーロスを減らす」がねらい。

花とみどりの活動が、アート面へ踏み出し始めました。

“Xmasリース” づくりセミナー ～ドライフラワーをテーマに～

続いて11/23に、Xmasリースというデラックスなドライフラワーを作ろうというチャレンジ的



なセミナーが開かれ、大人16人＆子供5人が参加しました（サンプラザ。主催：NPO花とみどり）。

講師は、市内栗生外院のフラワーショップ（ポルト・ボヌール）代表の斉藤優さん。たまたまお店を訪れたNP

Oのスタッフが、切り花とともに様々なドライフラワーが取り扱われていることに気づき、講師を依頼することに・・・。



リースは主に葉などで作るのですが、最初は青々としていたのですが、持ち帰った作品を自宅で徐々にドライフラワーにします。（参加者の作品→）

また、当日、お店で作ったサクラの花のドライフラワーも教材として登場（←写真）。「こんな繊細なお花でも・・・」と、参加者に驚きと感銘を与えました。



新型コロナ（一時？）沈静化／秋の2イベント開催・・・以前の勢いへ

この秋、国内はコロナ禍が少なくともいったんは沈静化。その中で秋のイベントが開催され、花とみどりのグループも参加などしました。



「NPOフェスタ（さんぺい橋）」での出展（店）の様子↑

さらに、11/14には箕面駅前で「花とみどりのマルシェ」を独自開催しました。

出展（店）の中心である「葉ぼたんの苗」を配り、市民に家庭と街との緑花を呼びかけました。この日はボランティア数人も応援に駆けつけ、コロナへの警戒色がより強かった「NPOフェスタ」を超えほぼコロナ前の水準の340株を配布。この日の募金は、ドライフラワー作品・ミックス苗などを含め24,550円をいただきました。（以上、みのお園芸ファーム＆NPO花とみどり）

まず、「NPOフェスタ」が10/31にかやのさんぺい橋（みのおフェスティバル）で開かれ、ドライフラワー作品＋葉ぼたんの苗＋春咲きミックス苗（「たねダンゴ」の混合タネを活かして育成）の配布を多彩に行い、17,650円の募金をいただきました。



「花とみどりのマルシェ（箕面駅前）」の様子↑

両イベントを通じ、パネルなどを使い「アメリカ オニアザミの会」が、また「ササユリの会（仮称）」の中で里山でのササユリ復活に先行して取り組む「しおんじ山の会」が、PRと募金とを行いました。

中央線“街路樹”問題／「まちなみ会議」が市へ保全の要望書／あいまいさ残る

市役所南側を東西に走る中央線の一部（市役所～中^{なかしょう}小区間。約300m）のポプラ並木がバツサリ伐採され（写真→）、車道を狭め歩道を広げ、歩道部分に自転車レーン（片側2本・両側4本）が新たに整備されました。

これに対し景観問題で活動する「みのお市民まちなみ会議」が、従来から重視されてきたまちなみ景観・街路樹への配慮がないと『要望書』を市へ提出。これに対し市は、予定していた桜ヶ丘区間などのイチョウ並木（高木）については、地元自治会の反対意向も受け、伐採撤回を表明。但し、上記区間の低木帯の撤去や中小～国道間の高木を含む街路樹の撤去などは保留したまま（一応、検討中）。曖昧さが残る「グレー状態」。

なお、有名な北大のポプラ並木も、安全上、大半は立入り禁止のように、箕面を知る造園専門家は以前から大木になったポプラ並木を問題視。しかし、伐採後は適切な樹種の街路樹への更新が、前提でした。「まちなみ会議」は、「代わりの街路樹を植えて欲しい」と申し入れています。※ポプラは根が浅いなど、大木になると倒れやすい性質。

Before 【写真作成：まちなみ会議】



After （上の写真：Google マップ から）



←→自転車レーン（青色とその右側の2本）

外来オニアザミ／市南部は除去進む ～ 市北部には、依然、群生地 1/22に「シンポジウム」開く

シンポジウム「外来植物アメリカ
オニアザミの危険から子供を守ろう」

日時：2022年1月22日（土）
13時半～15時半

場所：箕面駅前・サンプラザ地階（無料）

内容 ① 招待講演：長谷川 匡弘さん
（大阪自然史博物館 学芸員）

② 箕面の活動報告（本会）

③ 討論：課題と今後の取組

主催：アメリカ オニアザミの会

アメリカ・オニアザミの会は、'21年は市南部地域の既存市街地（西部～東部）で、この秋までに660か所・3,800株を除去、一昨年からの活動を大きく前進させました。

また、市北部（森町・止々呂美）でも地元自治会などと連携しながら努力中ですが、西側の新設府道や新名神高速道沿い斜面（主に堆肥を吹き付けた「黒い土」の面）には、依然と群生地が残り、府など道路管理者の協力を得て除去を促進中。

この件で、同会では1/22にシンポジウムを開きます。